



平成29年3月期
決算説明資料

田辺工業株式会社

◆当社の経営展開について ①

■経営理念

当社グループは、「お客様・従業員・株主・業務関係者そして社会の、みんなに喜ばれる親切で的確な仕事をしよう」を社是に掲げ、技術をもって社会に貢献することを経営理念として事業を展開しております。

■経営基本方針

当社グループ、は時代に即応した顧客が求める製造設備、インフラ設備の企画・製作・建設、メンテナンスまで一貫して幅広く対応し、長年培った技術の蓄積とエンジニアリングをコアに、お客様が満足する製造設備を提供してまいります。また、現場、現実、現物の三現主義の徹底をベースに技術、施工レベルを絶え間なく向上させ、ニーズを的確に捉えた設備でものづくりに貢献してまいります。

当社グループは、技術力、総合力の強化により、企業価値を高めることを経営の基本方針としております。

■目標とする経営指標

当社グループは、2020年3月期に連結売上高400億円の達成、連結営業利益5%以上を目標としております。

◆当社の経営展開について ②

■経営戦略等

1. 安定収益基盤の確保(コア事業の強化)
 - ・機械・電気一体型(建築・設計含む)の総合施工体制を軸とした営業体制、施工体制の強化を図る。
 - ・中京地区の市場拡大を目的とし、名古屋支店の拡充を図る。
2. 海外事業を強化する
 - ・海外子会社3社の売上アップ、海外子会社との連携により海外案件に積極的に取り組む。
3. 成長基盤の確立
 - ・人手不足に伴う自動化・省力化ニーズに対し、ロボット技術や当社オリジナル製品・装置の拡充を図る。
4. 人材基盤の強化
 - ・人材の確保・育成のため、さらなる実務訓練内容の充実に重点をおき、社員のスキルアップ、技術蓄積・体制強化に取り組む。

◆平成29年3月期決算の総括

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善が続き、政府の各種政策の効果もあり、景気は緩やかな回復基調が続きました。海外経済においては、中国や新興国経済の不確実性や、英国のEU離脱問題、米国の大統領選挙結果の影響などから景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

設備工事業界におきましては、公共投資では持ち直しが見られるものの、民間設備投資では企業の慎重姿勢等から、全般的に横ばいの傾向が続き、受注・価格競争は厳しい状況の中で推移しました。

このような状況下で、当社グループはお客様のニーズに合った設備の提案を積極的に行い、受注の確保・拡大に努めてまいりました。受注高・売上高につきましては、エネルギー関連工事の受注や既存設備の改造、改修、合理化、集約化等の工事及び定修工事の受注が好調に推移した結果、受注高・売上高とも前期を上回りました。利益面につきましては、競争が厳しさを増すなか、施工体制の確立、施工効率の改善、原価管理の徹底に取り組んだ結果、前期において発生した様な大きな不採算工事もなく、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに前期を上回りました。

【連結】

受注高	31,260百万円	(前年同期比 6.5%増)
売上高	30,593百万円	(前年同期比 5.9%増)
経常利益	1,825百万円	(前年同期比 15.1%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	1,195百万円	(前年同期比 23.1%増)
受注残高	6,192百万円	(前年同期比 12.1%増)

【単独】

受注高	29,718百万円	(前年同期比 10.5%増)
売上高	28,813百万円	(前年同期比 8.9%増)
経常利益	1,787百万円	(前年同期比 31.7%増)
当期純利益	1,273百万円	(前年同期比 63.4%増)
受注残高	6,150百万円	(前年同期比 17.2%増)

〈連結子会社〉

タナベタイランド社

田辺商貿(上海)有限公司

タナベエンジニアリングシンガポールPte. Ltd

◆貸借対照表

【連 結】 (単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	
	金 額	金 額	前期比
流動資産	16,740 〔73.4%〕	17,947 〔74.8%〕	7.2 %
固定資産	6,058 〔26.6%〕	6,053 〔25.2%〕	△0.1
資産合計	22,798 〔100.0%〕	24,001 〔100.0%〕	5.3
流動負債	9,273 〔40.7%〕	9,431 〔39.3%〕	1.7
固定負債	1,954 〔8.5%〕	1,933 〔8.1%〕	△1.1
純資産	11,571 〔50.8%〕	12,635 〔52.6%〕	9.2
負債純資産合計	22,798 〔100.0%〕	24,001 〔100.0%〕	5.3

【単 独】 (単位：百万円)

	前事業年度	当事業年度	
	金 額	金 額	前期比
流動資産	14,965 〔71.4%〕	16,393 〔72.9%〕	9.5 %
固定資産	5,986 〔28.6%〕	6,080 〔27.1%〕	1.6
資産合計	20,952 〔100.0%〕	22,474 〔100.0%〕	7.3
流動負債	8,822 〔42.1%〕	9,102 〔40.5%〕	3.2
固定負債	1,600 〔7.7%〕	1,633 〔7.3%〕	2.1
純資産	10,528 〔50.2%〕	11,739 〔52.2%〕	11.5
負債純資産合計	20,952 〔100.0%〕	22,474 〔100.0%〕	7.3

貸借対照表関連経営指標

【連 結】

	前連結会計年度	当連結会計年度
◎流動比率	180.5%	190.3%
◎自己資本比率	50.8%	52.6%
◎一株当たり純資産	1,081.28円	1,180.78円

【単 独】

	前事業年度	当事業年度
◎流動比率	169.6%	180.1%
◎自己資本比率	50.2%	52.2%
◎一株当たり純資産	983.86円	1,096.98円

(注) 当社は、平成29年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度・前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

◆ 損益計算書

【連 結】

(単位：百万円)

	前連結会計年度		当連結会計年度		
		百分比		百分比	前期比
		%		%	%
売上高	28,885	100.0	30,593	100.0	5.9
売上原価	24,408	84.5	25,649	83.8	5.1
売上総利益	4,476	15.5	4,943	16.2	10.4
販売費及び一般管理費	2,900	10.0	3,196	10.4	10.2
営業利益	1,575	5.5	1,746	5.7	10.9
営業外収益	60	0.2	108	0.4	80.0
営業外費用	49	0.2	29	0.1	△40.8
経常利益	1,586	5.5	1,825	6.0	15.1
特別利益	2	0.0	-	0.0	0.0
特別損失	122	0.4	96	0.3	△21.3
税金等調整前当期純利益	1,466	5.1	1,729	5.7	17.9
法人税、住民税及び事業税	518	1.8	565	1.8	9.1
法人税等調整額	△23	△0.1	△31	△0.1	34.8
親会社株主に帰属する当期純利益	971	3.4	1,195	3.9	23.1

【単 独】

(単位：百万円)

	前事業年度		当事業年度		
		百分比		百分比	前期比
		%		%	%
売上高	26,452	100.0	28,813	100.0	8.9
売上原価	22,607	85.5	24,292	84.3	7.5
売上総利益	3,844	14.5	4,520	15.7	17.6
販売費及び一般管理費	2,594	9.8	2,894	10.0	11.6
営業利益	1,249	4.7	1,625	5.6	30.1
営業外収益	165	0.6	191	0.7	15.8
営業外費用	58	0.2	29	0.1	△50.0
経常利益	1,357	5.1	1,787	6.2	31.7
特別利益	2	0.0	-	0.0	0.0
特別損失	121	0.5	2	0.0	△98.3
税引前当期純利益	1,237	4.7	1,785	6.2	44.3
法人税、住民税及び事業税	494	1.9	548	1.9	10.9
法人税等調整額	△35	△0.1	△37	△0.1	5.7
当期純利益	779	2.9	1,273	4.4	63.4

損益計算書関連経営指標

【連 結】

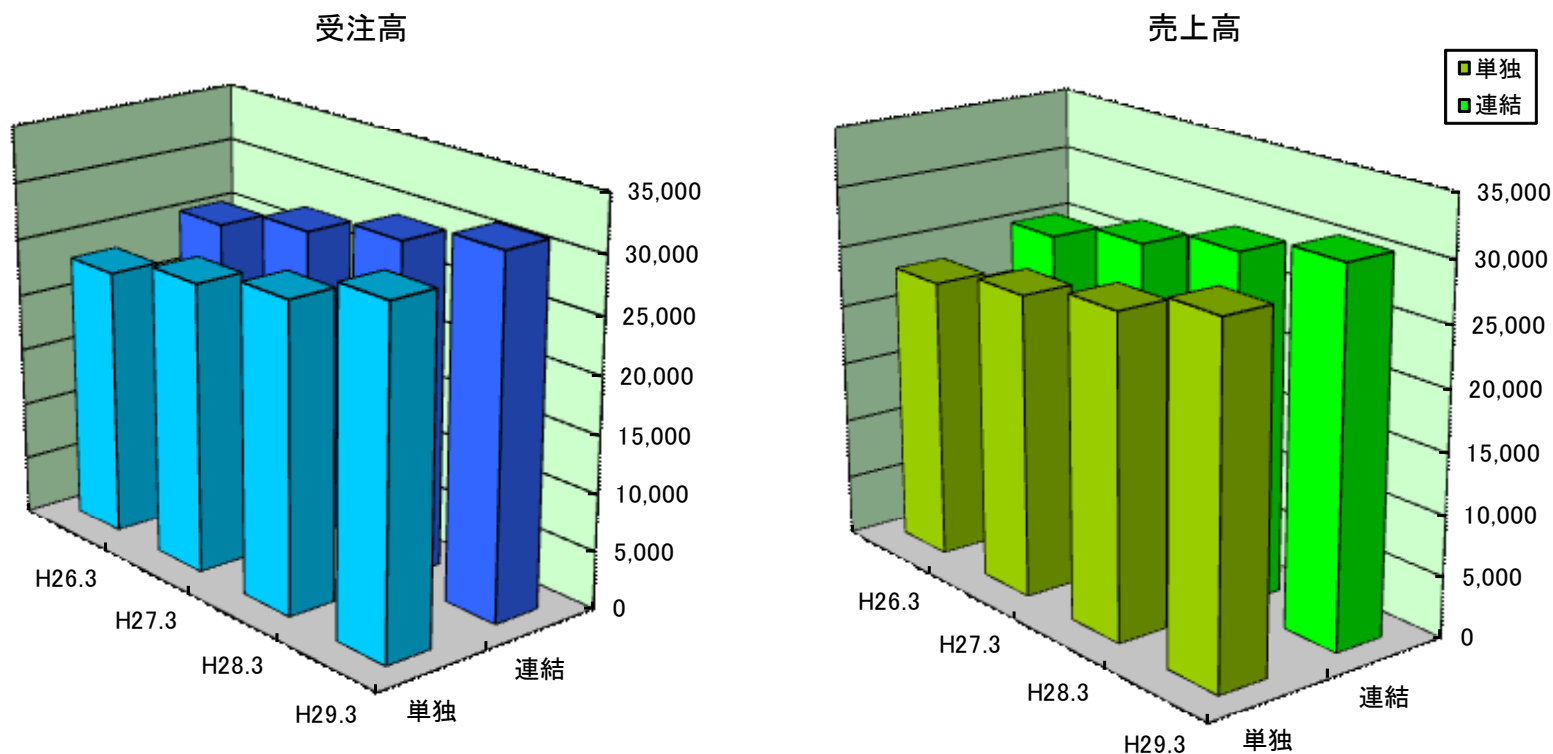
	前連結会計年度	当連結会計年度
◎売上高経常利益率	5.5%	6.0%
◎自己資本利益率(ROE)	8.6%	9.9%
◎1株当たり当期純利益	90.80円	111.70円

【単 独】

	前事業年度	当事業年度
◎売上高経常利益率	5.1%	6.2%
◎自己資本利益率(ROE)	7.7%	11.4%
◎1株当たり当期純利益	72.84円	119.04円

(注) 当社は、平成29年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度・前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

◆受注高・売上高・繰越高の推移



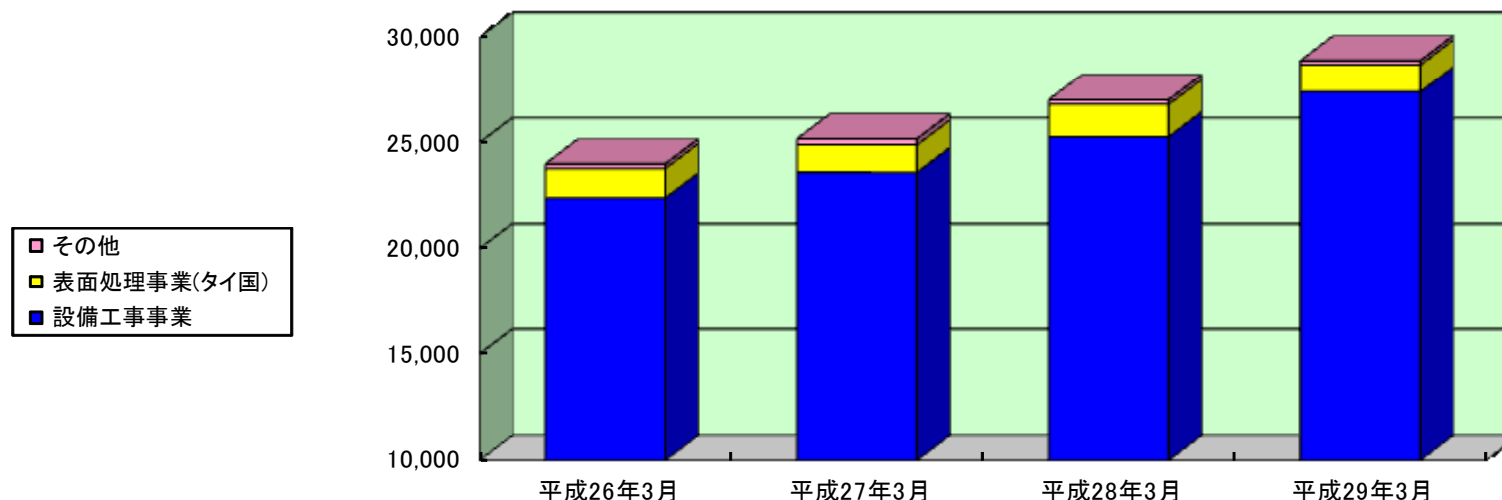
受注高・売上高・繰越高

(単位：百万円)

	平成26年3月	平成27年3月	伸率	平成28年3月	伸率	平成29年3月	伸率
受注高 (連)	25,408	27,446	8.0%	29,350	6.9%	31,260	6.5%
(単)	23,385	25,317	8.3%	26,899	6.2%	29,718	10.5%
売上高 (連)	25,174	27,024	7.3%	28,885	6.9%	30,593	5.9%
(単)	23,279	24,957	7.2%	26,452	6.0%	28,813	8.9%
繰越高 (連)	4,637	5,059	9.1%	5,525	9.2%	6,192	12.1%
(単)	4,438	4,798	8.1%	5,246	9.3%	6,150	17.2%

◆セグメント別売上高

セグメント別売上高



セグメント別売上高

(単位：百万円)

区分		平成26年3月	平成27年3月	伸率	平成28年3月	伸率	平成29年3月	伸率
設備工事業	産業プラント設備工事	9,477	11,549	21.9%	11,651	0.9%	12,936	11.0%
	設備保全工事	6,185	5,635	△8.9%	6,298	11.8%	7,393	17.4%
	電気計装工事	5,918	5,668	△4.2%	6,471	14.2%	6,117	△5.5%
	送電工事	1,030	1,472	42.9%	2,133	44.9%	1,950	△8.6%
	管工事	985	953	△3.2%	858	△10.0%	684	△20.3%
	小計	23,597	25,280	7.1%	27,413	8.4%	29,081	6.1%
表面処理事業(タイ国)		1,299	1,532	17.9%	1,281	△16.4%	1,300	1.5%
その他	鑄造用工業炉	277	211	△23.8%	189	△10.4%	211	11.6%
	小計	277	211	△23.8%	189	△10.4%	211	11.6%
合計		25,174	27,024	7.3%	28,885	6.9%	30,593	5.9%



平成30年3月期 業績予想

◆平成30年3月期の業績予想①

- 設備工事業界におきましては、民間製造業の企業業績の改善を受け、設備投資は緩やかな増加が期待されるものの、各企業の設備投資に対するマインドは改善に至らず、大型能力増産投資が伸び悩み、設備の老朽化などを背景に維持・更新投資や人手不足に伴う合理化・省力化（ロボット化）、研究開発投資など、中小型の投資が中心であり、受注環境は厳しさを増すことが想定されます。
- 次期の見通しは、国内の設備投資は総じて厳しいものと予想し、当社グループは産業プラント・電気計装一体型（建築・設計含む）の総合設計施工体制を軸とした営業体制、施工体制の強化、人出不足に伴う自動化・省力化ニーズに対応するロボット技術やオリジナル製品・装置の拡充、海外子会社3社の売上アップ、海外案件への取り組みなどの施策により、受注の確保、業績の確保に傾注してまいります。

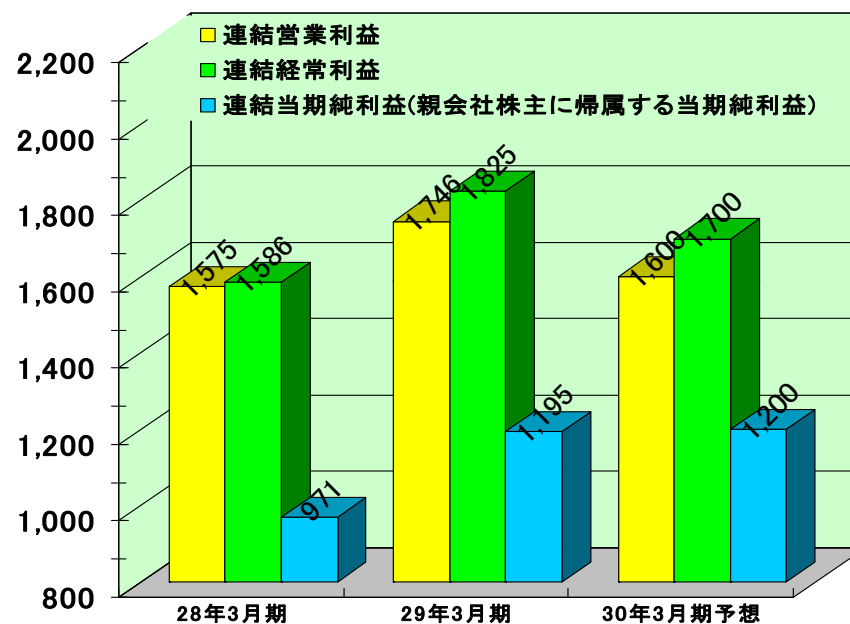
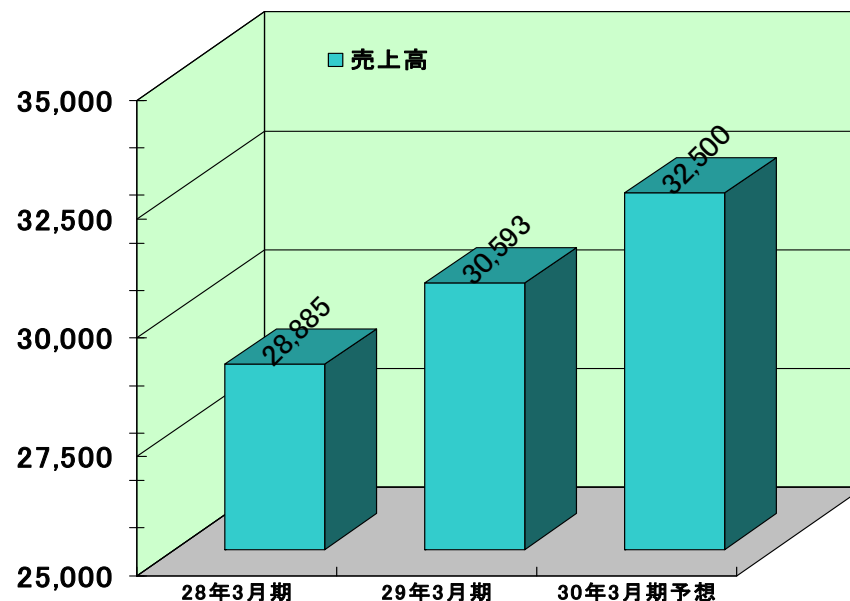
（詳細は次ページをご参照下さい）

◆平成30年3月期の業績予想②

【通期業績の見通】 (単位:百万円)

	業績予想 (連結)	前期実績
売上高	32,500	30,593
営業利益	1,600	1,746
経常利益	1,700	1,825
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,200	1,195
1株当たり当期純利益	112円14銭	111円70銭
	配当予想	前期実績
1株当たり配当金	20円00銭	40円00銭

(注) 当社は、平成29年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成30年3月期については当該株式分割後の予想の配当の額を記載しております。



本資料に関するお問い合わせ

田辺工業株式会社 〈経理課〉

TEL: 025-545-6500

E-mail: keiri@tanabe-ind.co.jp